

永山南小学校 学校だより



平成29年12月22日

2学期の終了にあたり

校長 森 将 人

2学期が今日で無事終了しました。2学期は、多くの行事がありましたが、日々の授業を含め、充実した教育活動が展開できたと考えております。過ぎてみればあっという間の2学期でしたが、さまざまな教育活動を通して南小の子どもたちは、一回りも二回りも大きく成長しました。多くの教育活動にご協力いただきました保護者・地域の皆様に改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

さて、「子どもたちの手先が不器用になっている！」と言われて久しいです。古い話ですが、私が小学生の頃は、シャープペンシルなど無かったので、ナイフで鉛筆を削っていました。うまく鉛筆を削れることは子供にとって自慢の一つでした。それも、電動鉛筆削り器の登場とともに、姿を消します。「ナイフは危ない」「子どもにけがをさせたくない」という保護者の願いがあったことも事実です。「鉛筆も削れない!」「子どもたちから手先の器用さが奪われる!」などという反論もありました。しかし、学校内でナイフによる事件が起きると、(子どもたちの)生命の安全が最優先課題となり、ナイフなどの危険物の持ち込みにそれまで以上に神経をとがらせるようになりました。

現代の子どもたちは、「手先の器用さ」とともに「心の器用さ」も失いかけています。コミュニケーションがとれない、集団に溶け込めないなど……。私たちの親が、時間をかけてきた子育ては姿を消し、「忙しい」という名のもとに、勉強は塾に任せ、遊びはTVやネットのゲーム、アミューズメント・パークの遊具で代行する。「手塩にかける」とか「手を尽くす」ことから「手」をぬき、今やお金が子育てをしているのではないのでしょうか。私自身、後悔してももう遅いのですが……。

「1年を思う者は、花を育てよ。10年を思う者は、木を育てよ。100年を思う者は、人を育てよ。」という言葉があります。100年先のことを自分の目で見ることはできません。100年先は無理としても、親としては、数十年後、自分の子供がしっかりと自立した立派な大人になっている姿を見たいものです。いま、親が「手を打つ」べきことはたくさんあります。現実から目を背けないこと。逃げないでありのままの我が子を見つめること。そして、しっかりと「褒め」きちんと「叱る」こと。

明日からの冬休み、親が「手を打つ」良い機会です。冬休みは、子どもたちにとって楽しい行事が続きます。そのような行事を家族で楽しみながら、親子でいろいろなことを話す機会をたくさん作ってください。そして、手伝いや勉強等、子どもががんばったことは大いに褒めてください。子どもを褒めることは、親の大切な愛情表現の一つです。子どもは、親の言葉に励まされて、自分は認められ愛されているのだと感じます。親の褒め言葉は子どもの心の栄養です。子どもの健全な自我形成には欠かせることができません。

もし仮に子どもが間違いを犯した場合は、しっかりと叱ることも親の大切な役目です。この冬休みが子どものよき成長になればと思います。

来年も、永山南小学校の子どもたちが明るい夢と希望に満ちあふれ、すてきな年になることを願うとともに、保護者の皆様、地域の方々にとりましても、佳き年でありますようお祈りいたします。

薬物乱用防止教室

7日（木）2校時に、学校薬剤師の橋先生を講師として、薬物乱用防止教室を開きました。これは、6年生の体育科保健「病気の予防」で学習したことを専門の方のお話を聞くことで、危険性などについてより理解を深める学習です。喫煙や飲酒が体に及ぼす影響や依存性について、具体的な事例などを踏まえ子どもたちに分かりやすくお話ししていただきました。また、エナジードリンクの摂取や薬物についても話題にいただきました。

子どもたちは、危険性や依存性を知り、それを周りから勧められても、「きっぱりとことわることが大切」ということを学んでいます。子ども自身が断る勇気をもつことと、大人の目でしっかりと見守っていくことが大切です。



各委員会の活動から

生活委員会では、休み時間に廊下歩行の呼び掛けを
図書委員会では本への関心を高めてもらうため、保健
委員会は健康の体を保つための〇×クイズを行いました。
また、代表委員会では異学年の交流を通して全体の
仲を深めることをねらい、「君の名は」という自己
紹介ゲームを企画しました。学校生活をより良くしよ
うと活躍する高学年の姿は、下級生たちへの憧れであ
り何よりの手本となっています。



主体的・対話的で深い学びを目指した授業改善

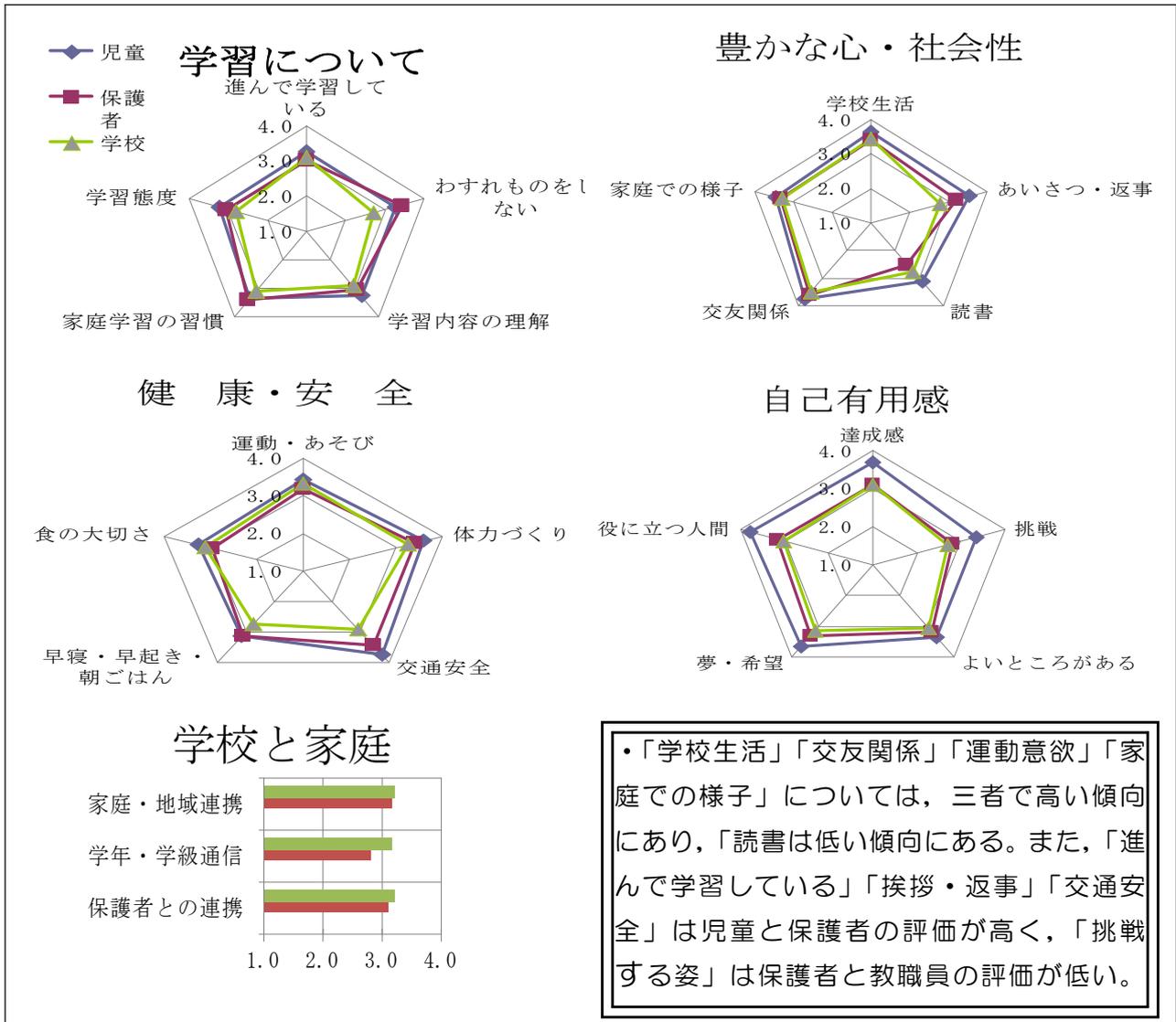
新しい学習指導要領の本格的な実施が平成32年度から始まります。来年からは、道徳が「特別の教科道徳」として教科化されたり、外国語活動が3・4年生で週1時間、5・6年生では週2時間になるなど、先行して実施されます。本校では、今年度、新しい指導要領への理解や「主体的・対話的で深い学び」の授業改善に向け、研修を深めていきました。その実践として、国語科、算数科、道徳、外国語活動において研究授業を行いました。

それぞれの学習の中に、主体的な学び（やってみたい、知りたいなど）に向かう工夫があり、子ども同士のペアやグループの対話、先生と子どもとの対話、教材との対話を通して学びを深める学習時間となっていました。子どもたちの、意欲的に学習に向かう姿や対話を通して学びを深める姿にこの1年での成長を感じるとともに、日々の授業改善の大切さを再認識する機会となりました。今後も、子どもたちの知識や技能、思考力・判断力・表現力の向上を目指し、日々の授業改善を図っていきます。



児童・保護者・教職員アンケートの結果

学校では、教育活動の充実・改善に向けて、毎年この時期に「学校評価」を行っています。そのための貴重な資料として、保護者の皆様から「保護者アンケート」のご協力をいただいております。このアンケートの他に、「児童アンケート」、「教職員学校評価」を合わせて、学校としての分析、改善案をまとめています。今年も、その集計が終わりましたので、アンケート結果をお知らせいたします。なお、「学校評価」は、さらに、学校評議委員の皆様の評価をいただき、次年度の学校運営に活かしてまいります。保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。



保護者アンケート（記述欄から一部抜粋）

- ・毎月、月末、1日はどの職場もわりと忙しく休みが取りづらいと思うので、参観日はさけてほしい。
- ・6年間、各反省等で改善してほしいということは学校やPTAの方々に改善していただきました。今後も、保護者からの話に耳を傾ける学校であってほしいと思います。
- ・いつも学校での指導に加えて少年団活動にもご協力いただき、とても感謝しています。

今後の取組に関わって

- ・学習規律や家庭学習など、全校で取り組んでいる項目について高い傾向にある。「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業改善を図り続けていくことが課題。
- ・「生活リズム」や「好き嫌い」などの向上に向け、生活リズムチェックシートの効果的な活用の仕方や家庭との連携を深めていくことが課題。
- ・挨拶・返事は、日常の授業や日々の指導、委員会活動との関連を図りながら推進していく必要がある。

1・2月の行事

- 1月17日(水) 3学期始業式(給食なし)
18日(木) 一斉下校訓練 街頭指導 冬休み作品展(23日まで)
19日(金) スキー学習(高学年)
25日(木) スキー学習(中学年)
26日(金) 委員会^⑬
29日(月) 第38回開校記念日
31日(水) スキー学習(高学年)
- 2月1日(木) 街頭指導
2日(金) スキー学習(中学年)
9日(金) 新1年生一日入学 委員会^⑭
11日(日) 建国記念の日
12日(月) 振替休日
13日(火) 校内書写展(3月2日まで)
14日(水) 全校集会
15日(木) 口座振替日
16日(金) スキー学習(2年生)
20日(火) 児童会選挙
23日(金) 参観日(6年生)
27日(火) 全校集会^⑨
28日(水) 参観日(1・2年生)

12月25日(月)(9:30~11:00)まで、冬休みサポート学習を行います。参加される子には、上靴と筆記用具、算数の教科書をもたせるようお願いします。



6年生の参観日が、中学校の一日入学と重なったため、2月16日(金)から2月23日(金)へ変更となります。急な変更でご迷惑をお掛けし大変申し訳ありません。よろしくお願いします。

貸出数1万冊を突破!~読書への意欲が高まっています~

アンケート調査では例年低い傾向にある読書への取組ですが、子どもたちの図書室の利用は増加傾向にあります。休み時間は貸出を待つ長蛇の列ができ、図書室が賑わっていました。読み聞かせ会や朝読書、国語科の授業の取組や司書の吉田さんのアイデアもあり、9月~11月にかけて貸出が増加し、11月には年間貸出数が1万冊を越えました。(昨年は、3月に1万冊を越えました。)読書は、読む力や語彙力を伸ばすことはもちろん、豊かな心の育成、知的好奇心を活発にするなど、様々なよさがあります。ご家庭でも、図書館や書店を訪れ、家族で読書に取り組んでみてください。子どもの新たな一面が見られると思います。



帽子、手袋の着用をお願いします!

本格的な冬を迎え、学校では冬の安全指導を重点的に行っています。天気によっては、朝から強い雪の日や気温が低い日もでてきていますが、子どもたちの服装を見ると、帽子や手袋をしていない子も見られます。登校してくると耳や手が真っ赤になっている子や、頭に雪がつもっている子なども見られます。登校時や外に遊びに行く時など、手袋、帽子の着用の呼び掛けをご家庭でもよろしくお願いします。